

1

$$m^3 + 1^3 = n^3 + 10^3 \iff (m-n)(m^2 + mn + n^2) = 3^3 \cdot 37 \quad \dots \textcircled{1}$$

m, n は 2 以上の整数であるから, $m-n \geq 9$ とすると, $m \geq n+9 \geq 11$ より,

$$m^2 + mn + n^2 \geq 11^2 + 11 \cdot 2 + 2^2 = 147$$

$$(\textcircled{1} \text{の左辺}) \geq 9 \cdot 147 = 1323$$

となり, 不適. したがって, $0 < m-n < 9$ となるから, $m-n=1, 3$ の場合を考えればよい.

(i) $m-n=1$ のとき

①より,

$$m^2 + mn + n^2 = 999$$

$m=n+1$ を代入して,

$$(n+1)^2 + (n+1)n + n^2 = 999 \iff 3(n^2 + n) + 1 = 999$$

左辺は 3 で割ると余りが 1 となるが, これは, 右辺が 3 の倍数であることに矛盾するから, これを満たす整数 n は存在しない.

(ii) $m-n=3$ のとき

①より,

$$m^2 + mn + n^2 = 333$$

$m=n+3$ を代入して,

$$\begin{aligned} (n+3)^2 + (n+3)n + n^2 = 333 &\iff n^2 + 3n - 108 = 0 \\ &\iff (n-9)(n+12) = 0 \end{aligned}$$

n は 2 以上の整数であるから, $n=9$. したがって, $(m, n) = (12, 9)$

以上から, $(m, n) = (12, 9)$ … (答)

2

(1) $x \cos \theta + y \sin \theta = \sqrt{x^2 + y^2} \cos(\theta - \alpha)$ であるから,

$$-\sqrt{x^2 + y^2} \leq x \cos \theta + y \sin \theta \leq \sqrt{x^2 + y^2}$$

となる. よって, 任意の角 θ に対して $-2 \leq x \cos \theta + y \sin \theta \leq y + 1$ が成立するのは,

$$-2 \leq -\sqrt{x^2 + y^2} \quad \text{かつ} \quad \sqrt{x^2 + y^2} \leq y + 1$$

が成り立つときである.

$$-2 \leq -\sqrt{x^2 + y^2} \iff x^2 + y^2 \leq 4 \quad \dots \textcircled{1}$$

$$\sqrt{x^2 + y^2} \leq y + 1 \iff y \geq \frac{1}{2}(x^2 - 1) \text{ かつ } y + 1 \geq 0 \quad \dots \textcircled{2}$$

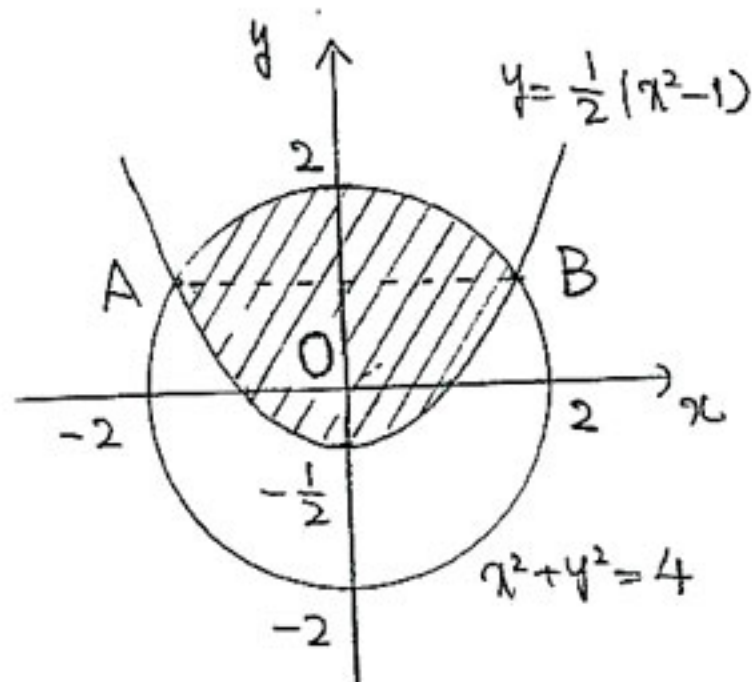
求める領域は, ①かつ②で図の斜線部となる. ただし, 境界を含む.

また, 図のように円と放物線との

交点を $A(-\sqrt{3}, 1)$, $B(\sqrt{3}, 1)$ とすると,

$\angle AOB = \frac{2}{3}\pi$ となることから, 面積は,

$$\begin{aligned} \int_{-\sqrt{3}}^{\sqrt{3}} \left\{ 1 - \frac{1}{2}(x^2 - 1) \right\} dx + \frac{1}{2} \cdot 2^2 \cdot \frac{2}{3}\pi - \frac{1}{2} \cdot 2^2 \cdot \sin \frac{2}{3}\pi \\ = \frac{1}{2} \cdot \frac{1}{6} \cdot (2\sqrt{3})^3 + \frac{4}{3}\pi - \sqrt{3} = \sqrt{3} + \frac{4}{3}\pi \dots (\text{答}) \end{aligned}$$



(2) $-x^2 \leq x^2 \cos \alpha \leq x^2$, $-|y| \leq y \sin \beta \leq |y|$ であるから,

$$-x^2 - |y| \leq x^2 \cos \alpha + y \sin \beta \leq x^2 + |y|$$

となる.

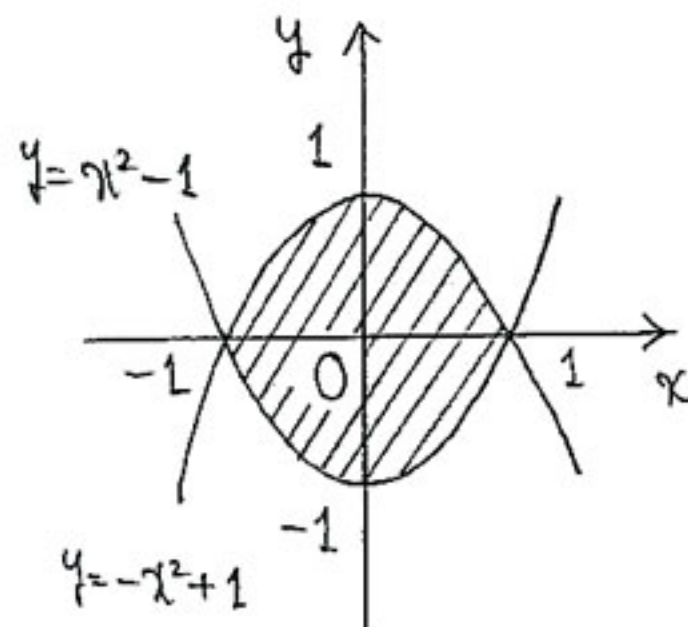
したがって, 任意の角 α, β に対して, $-1 \leq x^2 \cos \alpha + y \sin \beta \leq 1$ が成り立つのは,

$$-1 \leq -x^2 - |y| \text{ かつ } x^2 + |y| \leq 1 \quad \therefore |y| \leq -x^2 + 1$$

のときであり, 求める領域は, 図の斜線部となる. ただし, 境界を含む.

また, 面積は,

$$2 \int_{-1}^1 \{ -(x^2 - 1) \} dx = 2 \cdot \frac{1}{6} \cdot 2^3 = \frac{8}{3} \dots (\text{答})$$



3

$x^2 - 2px + q = (x - p)^2 - p^2 + q$ であるから、 $r = -p^2 + q$ ……①とおくと、放物線の方程式は $y = (x - p)^2 + r$ ……②となり、その頂点は (p, r) となる。

まず、

中心 $A(p, a)$ で半径1の円 C_a が②と共有点をもつ条件 ……③

を求める。

②上の点を $P(x, y)$ とおくと、

$$\begin{aligned} AP^2 &= (x - p)^2 + (y - a)^2 = y - r + (y - a)^2 \\ &= \left\{ y - \left(a - \frac{1}{2} \right) \right\}^2 + a - \frac{1}{4} - r (= f(y) \text{とおく}) \end{aligned}$$

であり、③は、 $y \geq r$ における $f(y)$ の最小値 m が1以下であることである。

(i) $r \leq a - \frac{1}{2}$ ……④ のとき

$$m = f\left(a - \frac{1}{2}\right) = a - \frac{1}{4} - r \text{ であるから、 } m \leq 1 \text{ より、 } a - \frac{5}{4} \leq r$$

$$\text{④を考慮して、} \quad a - \frac{5}{4} \leq r \leq a - \frac{1}{2} \text{ ……⑤}$$

(ii) $a - \frac{1}{2} < r$ ……⑥ のとき

$$m = f(r) = (r - a)^2 \text{ であるから、 } m \leq 1 \text{ より、 } a - 1 \leq r \leq a + 1$$

$$\text{⑥を考慮して、} \quad a - \frac{1}{2} < r \leq a + 1 \text{ ……⑦}$$

よって、③は、⑤または⑦より、

$$a - \frac{5}{4} \leq r \leq a + 1 \text{ ……⑧}$$

となる。

⑧で $a = 2q$ とおいて、円 C_{2q} が②と共有点をもつ条件は、①も考慮して、

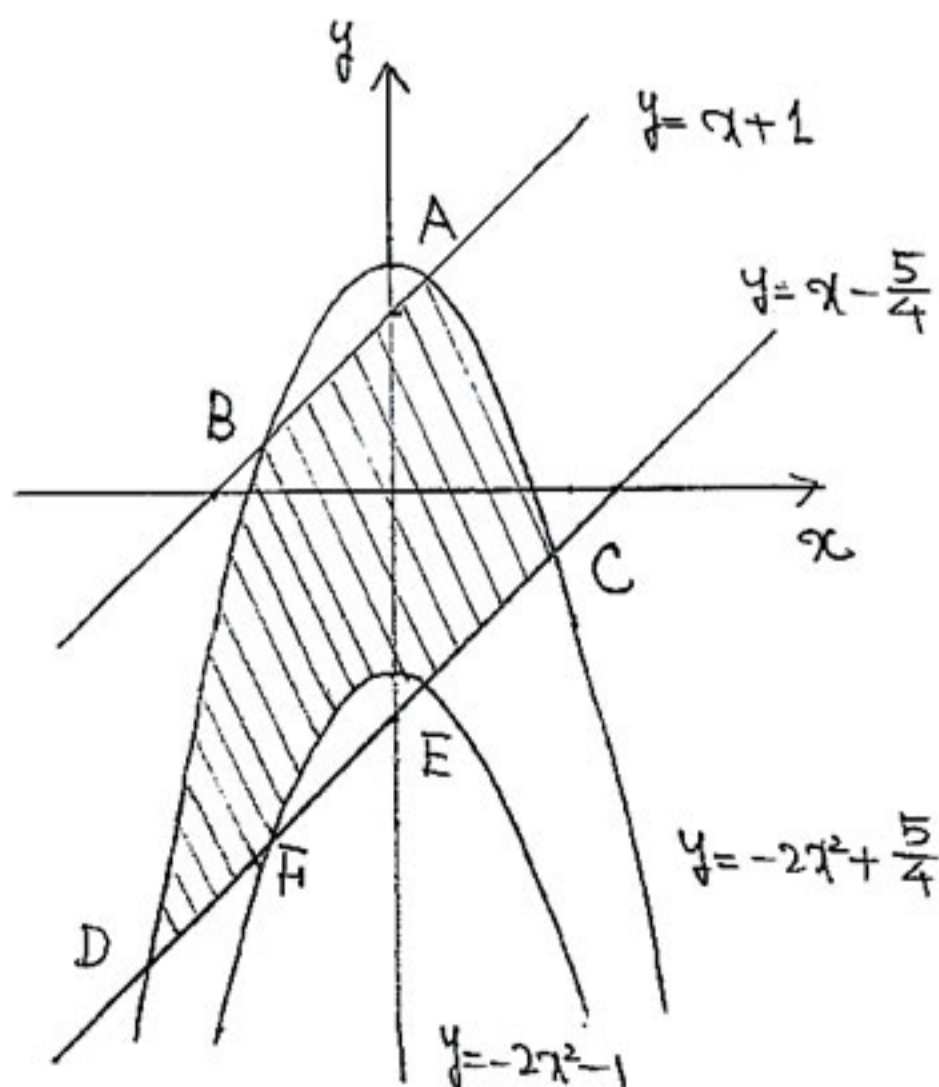
$$2(p^2 + r) - \frac{5}{4} \leq r \leq 2(p^2 + r) + 1 \quad \therefore -2p^2 - 1 \leq r \leq -2p^2 + \frac{5}{4} \text{ ……⑨}$$

⑧で $a = p$ とおいて、円 C_p が②と共有点をもつ条件は、 $p - \frac{5}{4} \leq r \leq p + 1$ ……⑩

⑨、⑩より、放物線の頂点 (p, r) の存在しうる領域は、

$$-2x^2 - 1 \leq y \leq -2x^2 + \frac{5}{4} \text{ かつ } x - \frac{5}{4} \leq y \leq x + 1$$

であり、図示すると、下図の斜線部分となる。ただし、境界を含む。



$$A \left(\frac{-1 + \sqrt{3}}{4}, \frac{3 + \sqrt{3}}{4} \right)$$

$$B \left(\frac{-1 - \sqrt{3}}{4}, \frac{3 - \sqrt{3}}{4} \right)$$

$$C \left(\frac{-1 + \sqrt{21}}{4}, \frac{-6 + \sqrt{21}}{4} \right)$$

$$D \left(\frac{-1 - \sqrt{21}}{4}, \frac{-6 - \sqrt{21}}{4} \right)$$

$$E \left(\frac{-1 + \sqrt{3}}{4}, \frac{-6 + \sqrt{3}}{4} \right)$$

$$F \left(\frac{-1 - \sqrt{3}}{4}, \frac{-6 - \sqrt{3}}{4} \right)$$

5

(1)(i) n 回の試行で X が x 回, Y が y 回選ばれたとすると,

$$x+y=n, \quad 0 \leq x \leq n, \quad 0 \leq y \leq n$$

であるから, 点 P が到達可能な点は, $(0, n), (1, n-1), (2, n-2), \dots, (n, 0)$ の $n+1$ 個となる. …(答)

(ii) $x=l$ として, 点 P が $(l, n-l)$ ($l=0, 1, 2, \dots, n$) に到達する確率 p_l は,

$$p_l = {}_n C_l \left(\frac{1}{2}\right)^n$$

となる.

$$\frac{p_{l+1}}{p_l} \geq 1 \iff \frac{{}_n C_{l+1}}{{}_n C_l} = \frac{n-l}{l+1} \geq 1 \iff l \leq \frac{n-1}{2}$$

であるから,

(ア) n が奇数の場合

$$l \leq \frac{n-3}{2} \text{ のとき } p_{l+1} > p_l, \quad l = \frac{n-1}{2} \text{ のとき } p_{l+1} = p_l, \quad l \geq \frac{n+1}{2} \text{ のとき } p_{l+1} < p_l$$

よって, $l = \frac{n-1}{2}, \frac{n+1}{2}$ で p_l は最大となる.

(イ) n が偶数の場合

$$l \leq \frac{n-2}{2} \text{ のとき } p_{l+1} > p_l, \quad l \geq \frac{n}{2} \text{ のとき } p_{l+1} < p_l$$

よって, $l = \frac{n}{2}$ で p_l は最大となる.

以上から, 確率が最大となる点は,

$$\begin{cases} n \text{ が奇数のとき, } \left(\frac{n-1}{2}, \frac{n+1}{2}\right), \left(\frac{n+1}{2}, \frac{n-1}{2}\right) \\ n \text{ が偶数のとき, } \left(\frac{n}{2}, \frac{n}{2}\right) \end{cases} \quad \dots(\text{答})$$

(2)(i) n 回の試行で X, Y, Z がそれぞれ x 回, y 回, z 回選ばれたとする.

$$z=k \quad (k=0, 1, \dots, n) \text{ のとき,}$$

$$x+y=n-k$$

となり, 点 P が到達可能な点の個数は, $n-k+1$ 個である.

よって, 求める個数は,

$$\sum_{k=0}^n (n-k+1) = \frac{1}{2}(n+1)(n+2) \text{ 個} \quad \dots(\text{答})$$

となる.

(ii) $z=k$ ($k=0, 1, \dots, n$) のとき, P が到達する確率が最大の点は(1)より,

$$\begin{cases} n-k \text{ が奇数のとき, } \left(\frac{n-k-1}{2}, \frac{n-k+1}{2} \right) \text{ または } \left(\frac{n-k+1}{2}, \frac{n-k-1}{2} \right) \\ n-k \text{ が偶数のとき, } \left(\frac{n-k}{2}, \frac{n-k}{2} \right) \end{cases} \dots (*)$$

である。この点に到達する確率 p_k は、

$$p_k = \begin{cases} {}_n C_k \cdot {}_{n-k} C_{\frac{n-k-1}{2}} \left(\frac{1}{3} \right)^n & (n-k \text{ が奇数のとき}) \\ {}_n C_k \cdot {}_{n-k} C_{\frac{n-k}{2}} \left(\frac{1}{3} \right)^n & (n-k \text{ が偶数のとき}) \end{cases}$$

となるから、 $k=0, 1, \dots, n$ で動かしたとき p_k が最大となる k を求める。

(ア) $n-k$ が奇数 ($n-(k+1)$ が偶数) の場合

$$\frac{p_{k+1}}{p_k} \geq 1 \iff \frac{{}_n C_{k+1} \cdot {}_{n-(k+1)} C_{\frac{n-(k+1)}{2}}}{{}_n C_k \cdot {}_{n-k} C_{\frac{n-k-1}{2}}} = \frac{n-k+1}{2(k+1)} \geq 1 \iff k \leq \frac{n-1}{3}$$

である。 n が 3 の倍数であることから、

$$\begin{cases} k \leq \frac{n-3}{3} \text{ のとき } p_{k+1} > p_k \\ k \geq \frac{n}{3} \text{ のとき } p_{k+1} < p_k \end{cases}$$

となり、 $k = \frac{n}{3}$ で p_k は最大となる。

(イ) $n-k$ が偶数 ($n-(k+1)$ が奇数) の場合

$$\frac{p_{k+1}}{p_k} \geq 1 \iff \frac{{}_n C_{k+1} \cdot {}_{n-(k+1)} C_{\frac{n-(k+1)-1}{2}}}{{}_n C_k \cdot {}_{n-k} C_{\frac{n-k}{2}}} = \frac{n-k}{2(k+1)} \geq 1 \iff k \leq \frac{n-2}{3}$$

である。 n が 3 の倍数であることから、

$$\begin{cases} k \leq \frac{n-3}{3} \text{ のとき } p_{k+1} > p_k \\ k \geq \frac{n}{3} \text{ のとき } p_{k+1} < p_k \end{cases}$$

となり、 $k = \frac{n}{3}$ で p_k は最大となる。

以上から、確率が最大となるのは $k = \frac{n}{3}$ のときで、このとき、 $n-k = \frac{2n}{3}$ は偶数となるから、(*)より、

$$P\left(\frac{n}{3}, \frac{n}{3}\right) \dots (\text{答})$$

となる。